

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(工((機)1年))

施国恩・非常勤講師

1単位 後期 水 7・8

(平成19年度以前の授業科目:『中国語入門』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

【授業の目的】前期で学んだ発音や基礎文法を生かし、そこから一步進んだ会話ができるように、日常生活に必要な中国語の表現方法や話し方を身に付ける。また、中国人の考え方、生活習慣、中国の文化、中国の社会事情を紹介し、隣国である中国に対する理解を深める。

【授業の概要】テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生、あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関係するビデオ教材やCD等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

【キーワード】コミュニケーション、中国語、発音、基礎文法

【先行科目】[先行科目]

【関連科目】[関連科目]

【到達目標】中国語で場面に応じたコミュニケーションができる。

【授業の計画】

1. 第8課 街上(街)
2. 第8課 (前置詞“从”“往”，時間量の言い方，動詞につく“了”)
3. 第9課 京都
4. 第9課 (“在”，“是～的”構文，進行の表し方)
5. 第10課 寿司
6. 第10課 (主述述語文)
7. 復習
8. 中間テスト
9. 第11課 滑雪(スキー)
10. 第11課 (助動詞“会”，二重目的語を取る動詞)
11. 第12課 動物園
12. 第12課 (方向補語，助動詞“可以”)
13. 第13課 春假(春休み)
14. 第13課 (疑問詞の不定用法，助動詞のまとめ)
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】相原 茂 陳 淑梅 飯田 敦子 『初級テキスト 日中いぶこみ広場』(朝日

出版社)2011年，2,625円(必ず購入すること)※前期のテキスト終了後，これを使用するが最後の課まで到達するとは限らない。

【参考書等】[参考資料]

【成績評価の方法】小テスト，期末試験，授業への取り組み状況により総合的に評価する。

【再試験の有無】有

【受講へのメッセージ】授業中は恥ずかしがらず，積極的に声を出して練習しましょう。予習・復習時には，教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ，“聞き取る能力”と“話す能力”を養うことができます。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221264>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 施。

Chinese

Introductory Chinese

(工((機)1年))

名姓・PART-TIME LECTURER

1 unit 後期 水 7・8

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

Target) 前期で学んだ発音や基礎文法を生かし、そこから一步進んだ会話ができるように、日常生活に必要な中国語の表現方法や話し方を身に付ける。また、中国人の考え方、生活習慣、中国の文化、中国の社会事情を紹介し、隣国である中国に対する理解を深める。

Outline) テキストで新出単語・文法事項を学習し、発音練習をした後、教師と学生、あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き、会話運用能力を高めていく。また、中国に関係するビデオ教材や CD 等も適宜使用し、中国事情の紹介をする。

Keyword) コミュニケーション, 中国語, 発音, 基礎文法

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal) 中国語で場面に応じたコミュニケーションができる。

Schedule)

1. 第 8 課 街上(街)
2. 第 8 課 (前置詞“从”“往”, 時間量の言い方, 動詞につく“了”)
3. 第 9 課 京都
4. 第 9 課 (“在”, “是 ~ 的”構文, 進行の表し方)
5. 第 10 課 寿司
6. 第 10 課 (主述述語文)
7. 復習
8. 中間テスト
9. 第 11 課 滑雪(スキー)
10. 第 11 課 (助動詞“会”, 二重目的語を取る動詞)
11. 第 12 課 動物園
12. 第 12 課 (方向補語, 助動詞“可以”)
13. 第 13 課 春假(春休み)
14. 第 13 課 (疑問詞の不定用法, 助動詞のまとめ)
15. 期末試験
16. 総括授業

Textbook) 相原 茂 陳 淑梅 飯田 敦子 『初級テキスト 日中いぶこみ広場』(朝

日出版社)2011 年, 2,625 円(必ず購入すること)※前期のテキスト終了後, これを使用するが最後の課まで到達するとは限らない。

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する。

Re-evaluation) 有

Message) 授業中は恥ずかしがらず, 積極的に声を出して練習しましょう。予習・復習時には, 教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ, 「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができます。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=221264>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ 施 .